

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生理機能検査学実習Ⅰ	2年次	必修	実習	1単位（45時間）	笹岡 悠一 ※
授 業 概 要					
政令で定める生体機能検査を円滑に実施するための技術を修得する。生体機能情報を収集するための理論と実際、そして結果の解析と評価を行い、この実習を通して臨床実習に繋げる力を身に付ける。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・生理機能検査に必要な知識を理解する。 ・測定法の原理を理解し、機器の操作ができる。 ・測定におけるアーティファクトを理解し、迅速に精密に正確に結果を出すことができる。 ・正常所見、異常所見を理解し、結果判読ができる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	心電図検査 <ul style="list-style-type: none"> ・標準12誘導による心電図記録 ・正常心電図波形の計測と評価 ・負荷心電図(マスターの2階段運動負荷試験) 				富永 一郎
9-15	脳波検査 <ul style="list-style-type: none"> ・10/20電極法による導出：電極接着と正常脳波記録 ・脳波賦活法 ・検査中の被検者に対する注意 ・検査終了後の処置と所見整理 				笹岡 悠一 ※
16-23	筋電図検査 <ul style="list-style-type: none"> ・末梢神経伝導検査 				大西 秀典 ※
※機器等の都合により実習内容を変更することがある。					
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・本実習は学生同士が被検者と検者役になって測定を行い、操作方法と結果判読法を習得する。 ・授業開始前に教科書及び講義ノートを読んで実習内容の検査について予習をし、講義後は復習をする。 ・実習中の待ち時間を利用してレポート作成が可能のため、レポート用紙、教科書、参考書を持参すること。 ・実習を欠席する場合は事前に科目担当者に了承を得ること。無断で欠席した場合は以降の出席を認めないことがある。やむを得ず実習を欠席した場合は、補習実習を行うので申し出ること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習試験等(60%)及びレポート(40%)により評価する。 ・レポートはレポート評価基準(ガイドライン)に基づき評価する。これに満たない場合は評価しない。 ・再試験はレポートの再評価はしない。筆記試験で評価する。 					
先 修 科 目					
生理機能検査学Ⅰ、生理機能検査学Ⅲ					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕					
最新臨床検査講座	生理機能検査学	東條尚子 他	医歯薬出版		
標準臨床検査学	生理検査学・画像検査学	谷口信行	医学書院		
臨床検査学実習書シリーズ	生理機能検査学実習書	今井 正	医歯薬出版株式会社		
〔参考書〕					
手に取るようにわかる心電図検査	土居忠文	ベクトル・コア			
心電図ドリル	土居忠文・宮尾恵示	ベクトル・コア			